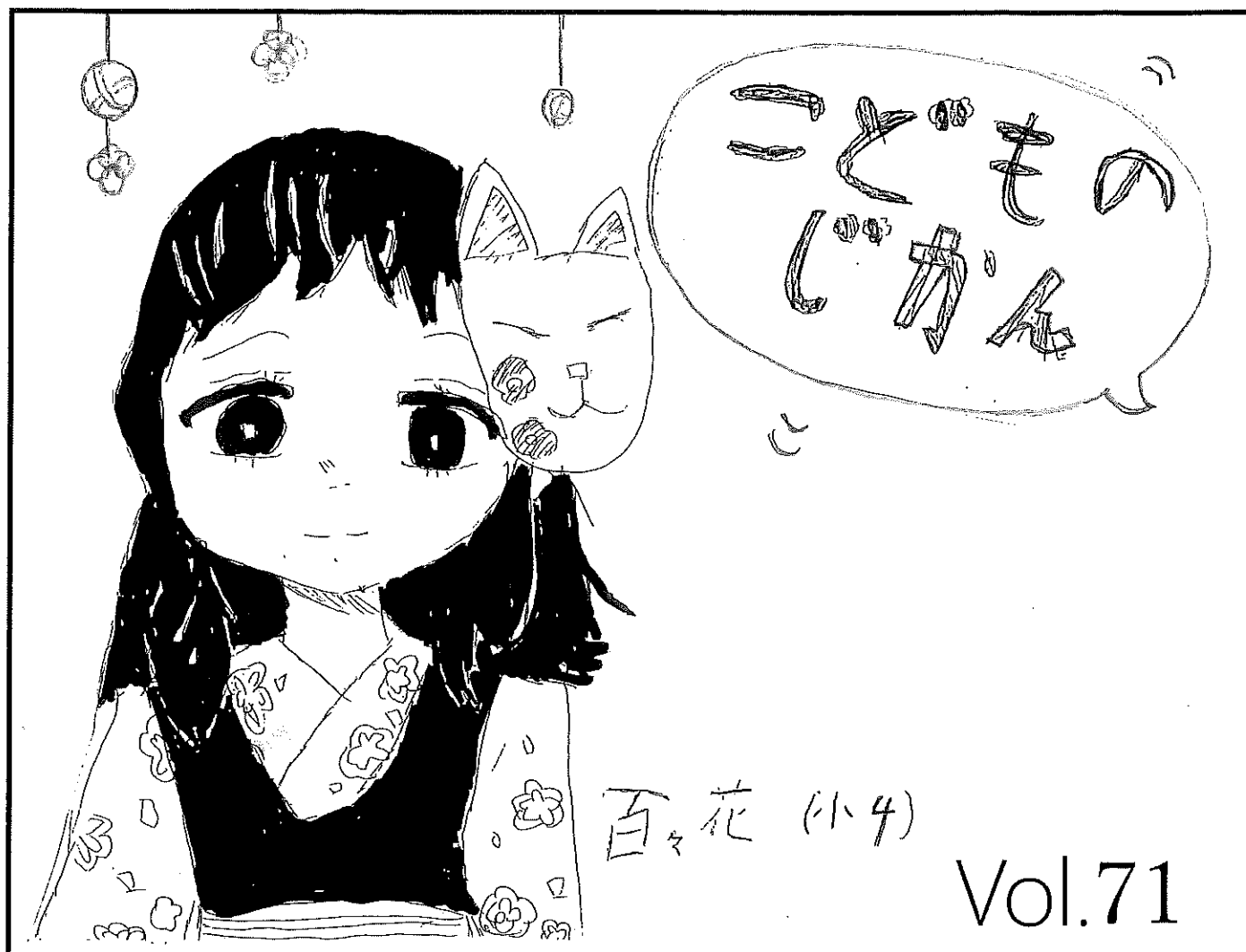




●特集●

子どもを支える大人のための活動・・・1～2

＊スタッフ研修に参加して

ー子どもの育ち・発達に大人はどうかかわるのかー

＊おとなだいがく

ー大人のためのゆる～い学びの会ですー

「読書について」・・・3

森 俊博

ココロノアリカ vol.43・・・4

「やさしいウソ」

水戸南高等学校 定時制同窓会会長 宮田 哲郎

そ育て情報ラジオ番組・・・5

イクメン講座より「没頭力を育てる」 大内清志

よしこの世界一周大冒険シリーズ・・・6

失敗する力を育てよう 杉野 美子

絵本の紹介ほか・・・7

図書館司書ずんちゃん

「なみのいちにち」「わたしはここがきにいてます」

「なすこちゃんとねずみくん」

コラム&お知らせ・・・8

＊我が家は鳥たちのバズリスポット!! 安野名都美

＊「みとこどものげきじょうまつり」のお知らせ

水戸こどもの劇場より・・・9

毎月の活動紹介 参加者募集

その他のお知らせ・・・10～11

事務所MAP 訪問型病児保育のご案内 広告

発行：認定NPO法人 水戸こどもの劇場

〒310-0912 茨城県水戸市見川2-82-11

TEL/FAX 029-255-0908

E-mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp

URL <http://mito-kodomo.securesite.jp>

LINE ・メルマガも発行しています。



スタッフ研修「子どもの育ち・発達に大人はどうかかわるのか」

講師：北島尚志さん 平川恭子さん さとうりつこさん

(NPO 法人あそび環境 Museum アフタフ・バーバン)

2026 年 5 月 24 日(日)水戸市民会館 スタッフ 38 名参加

参加者の
感想より

★保育士・幼稚園教諭になるために専門学校に通いはじめて2ヶ月弱、考え方が難しい、経験したことがなくまだわからないと思うところもありました。今後子どもたちと接する機会が増えてくるので、今日聞いたことを忘れずに響感することのできる大人になっていきたいです。

今日参加した中では一番子どもたちに近い年齢ということをはかして、自分がどう関わってもらった時が嬉しかったのか、どんな反応をされた時に心を閉ざしたのかも活動の中でいかしていきたいと思いました。ありがとうございました。遊びのワークは楽しかったです。何年経っても、何度でも、年齢に関係なく大きな声で笑い合えるってすごいです。こども達も巻き込みたいです。

★「〇〇なこども」という見方をしてしまうと、こどもはその期待に応えようとする、という言葉が、心に刺さった。これは、こども相手のみならず、保護者を見る目、スタッフ間の関係でも、成り立つこと。そして、現に起きていること。無意識のラベル付け、根拠のない先入観の共有がされないよう、自身も、周りの人とも、気をつけていきたい。



★北さんの話は楽しくて、毎年聴くことで、ああそうだった！

午前中たっぷり遊べて、午後はたっぷりラジオ風のお話しが聴けて楽しかったです。

子どもに接するお仕事をされている方、多くの子育て中のママパパ、子育て終わった方、子育てしたことない方、妊婦さん、いろんな立場の方々に広く聴いてもらいたいです。

★今回の研修もとても楽しく受けさせていただきました。知識としてだけではなく、肌で、心で感じられる研修でした。特に、こどもは大人への準備期間ではなく、こどもの期間を生きる人である。ということ、恥ずかしながら今まで考えたことがなかったのですが、自分のこども時代を振り返ると、夢中になって遊んだ、一見無駄なような時間が、かけがえのない思い出になっていて今の自分を支えているのを感じます。

★午前中のレクリエーションでは、参加者同士で楽しみながら自然と学びを深めることができました。また、午後の講話では「どのように見守るべきか」という具体的な視点や注意点を学ぶことができ、大変有意義な機会となりました。一日を通してよく学ぶことができたため、今後の活動にしっかりと活かしていきたいと思います。

★楽しく参加させていただきました。スタッフとしても親としても、こどもに自由にのびのびと遊ばせてあげたいと思う気持ちと、危険や周りへの迷惑を避けたい気持ちとの間でもやややすすることも多くあります。便利な育児グッズや、常識とされていることなど、周囲を取り巻く育児環境について、一度立ち止まって捉え直すことが大切であると感じました。

★バーバンとの出会いがあつての今の水戸こどもの劇場の事業、活動があると思っています。何年経っても色々な問題は起き続けます。多くの人間同士の関わり合いで創り続ける活動なので、これは当然なのだと思います。しかし、この問題をどう解決していくか、皆んなの知恵を出し合いながら前に進んでいく事が多くの人達との関わりに繋がっていくのだと感じています。

★良き時間を過ごせました。関わり方…話し方 改めて難しいなあ。「何気ない言葉で傷つけている」無意識に出ている言葉。怖いですね。子どもも大人も心境は日々変化していると思われるので、！？と感じた時の在り方も共有する時間に影響するのかもしれない。午前中のワークは笑いもあり初めましての方とも交流ができ楽しい時間でした。

おとなだいがく



お互いに
楽しい学び合う場です

先日、滋賀県レイカディア大学を情報番組で知りました。

入学資格は 60 歳以上、年間授業料 5 万円、学園祭もあって、楽しそう～入りたい！と思いました。

前向きに学ぶ高齢者が増えれば健康的で医療費も減るし、地域の活動に参加して孤立も減ったり等、いいこといっぱいだと思いますか？入学できるのは県内在住の方……残念💧

もし入れるとしたら陶芸科だな～、茨城にも出来ないかな～といういろいろ妄想してしまいました。

そして、とりあえず 60 歳以上に限らず参加者を募集、まずは身近なところから声をかけ始めたと思ったら、あっという間に第一回お習字を書こうの開催に至りました。7 名集まりわいわいガヤガヤお習字、そのあとなぜか筆を使って描くうろ覚え大会、笑った笑った。意外とちゃんとお習字してるし、上手だし、みんなすごい！

最後にコーヒーを飲んで楽しくおしゃべりし、その場で今後やりたいことを出していったら年間計画も出来ました。なんか楽しそう♪

自分の子どもが小さかったころからずっと数十年関わってきて若かった親であるわたしたちもだいたい大人になり、子どもの手が離れたら、今度は自分たちの楽しみをこの会の中でもやっていいんじゃない？と思っています。

やりたいと思った事がすぐに実行出来て居場所や仲間ができる、水戸こどもの劇場って素敵だな～と改めて思いました。

平日の午前中時間のある方はぜひ遊びにきてみて下さい。

1 回だけの参加でも大丈夫ですよ！

おとなだいがく学長（笑）袴塚

おとなのための
やってみたいことを
たのしくゆるっと
学ぶ会です
● お茶付き

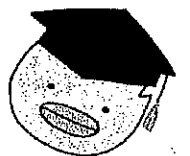
<参加者募集!!>

大人ならどなたでも OK!
60 歳以上大歓迎!

2026 年度 (予定)

- 5/11 お習字
- 6/8 お絵描き
- 7/13 ししゅう
- 9/14 紙粘土 箸置き、ブローチなど
- 10/19 消しこむハンコ作り
- 11/9 火起こし&パーバキュー
- 12/14 絵手紙
- 1/18 さしこ
- 2/15 あみもの ブローチなど
- 3/15 紙バンドでかごを編もう

おとな
だいがく



月曜日 (月 1 回) 10:00~12:00

場所: 水戸こどもの劇場 別館ほか

<参加費> 会員無料 会員外 1 回 200 円

*材料は基本的に各自用意、無ければある方からもらう方式です。参加者同士でなんとかするのも学びの一つ・・・

●お問い合わせ●

認定 NPO 法人 水戸こどもの劇場

(月～金) 10 時～17 時

029-255-0908

mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp

読書について

森俊博



最近、林望の『役に立たない読書』（インターナショナル新書、2017）を図書館で借りてきたが、このタイトルにある「役に立たない」というところに興味があったからである。小生は時々、どんな本を読んだらいいかと聞かれることがあり、それに答えるのに戸惑うことがある。そのような問を發する人は、普遍的な答えがあると確信しているようでもあるので、余計に答えにくくなるのだ。

たとえば、自分が今読んでいる本が面白いからといって、それを紹介したところで紹介された人も同じようにそれを面白がるとは限らない。なぜならば、読もうとしている人がどのような人で、どのようなことに興味があり、何を目的に読もうとしているのか、どのような状況で読もうとしているのかによって答えが異なるからである。だから、どんな本を読んだらいいかという問に答えるのは難しい。

一方、薦め上手なのが書店である。そこには、各新聞に掲載された書評欄が掲示されていたり、ベストセラーなるランキング表が掲示されてあったりする。これは書店員によるアイデアで、売り上げを伸ばそうとする企画なのだろうが、流行に敏感な人以外にはあまり効果はないと思われる。本屋大賞なる顕彰もあり、書店員の薦める本は売れ行きがいいらしい。これらは、あまり書店に行かない人や、どうしても読書感想文を書かなければならないから何か読まなくてはならないという人には参考になるかもしれないが、書店に足繁く通っている読書家たちは自分の好みや趣味がはっきりしているもので、ベストセラーなどには興味がないのである。林も、同じようなことを書いている。

また、読書週間の前や、夏休みなどの長期休暇の前に読書を楽しんでもらいたいと、出版社などが有名な薦める本などという企画をすることが多い。そこで、それらの推薦図書を参考にするのはいいが、それらの本がどのような分野のものなのか、推薦者がどのような職業でどのような経歴を持っていて、どのような方面に興味がある人なのかを確認しておくことは必要だろう。本のタイトルだけではどのような分野の本なのか分からないことも多いからだ。

また、そもそも読書が好きではない人が、何か読まねばならないとの強迫観念に駆られて読むべき本を捜す場合、多分どの本を読んでも後悔するに違いない。耳学問という言葉があるが、ある種の人には本など読まなくとも、耳から入ってくる情報で十分事足りるのだから、無理して読書などする必要はないのである。株などの投資で儲けようとしている人は、その手のハウツー本を手にとればいいのであって、夏目漱石などの小説など読まなくたっていいのである。きっと数行読んで放り出すのが目に見えている。読書と、情報収集とは違う。林の言う「役に立たない」とは情報収集には

役に立たないという意味である。

林は、研究や仕事で読まねばならない本とは別に、頭を休めるための本を読むことも多いと言っている。そして、そのような至福のひとつときには、机に向かって読むのではなく寝転がって読むという。また、電車の中で読むには文庫や新書が軽くていいし、そのような隙間時間に読むことも薦めている。読書するぞと気合いを入れて机に向かっても、勉強を強いられているようで読書は楽しめないとも。また、何冊か併読することもしているという。そのようなことをすると頭が混乱するのではないかというのは杞憂で、かえって煮詰まった頭が切り替えられていいのだとも。「役に立たない」とは、実用的ではないという意味で、楽しみで読むものが読書であるといっているのである。

最後に小生の読書経験を書いておこう。以前勤務していた学校の図書館でちくま文庫の漱石全集を発見した。軽くて持ち運びがしやすく、片手で読むことができるし装幀がきれいだったので借りることにした。それまで、『猫』や『坊っちゃん』くらいしか知らなかったもので、改めて漱石の長編を全部読んでみると、なぜ漱石が文豪と呼ばれるのかが分かった。そして、漱石という人間に興味を持った。すると、今度は漱石がどのように評価されているのか知りたくなり、漱石についての評論を手当たり次第読むようになった。更に、漱石の生きた時代を知る必要に迫られ、また同時代の周辺人物のことも知りたくなり、と、興味が広がり、読書範囲も広がっていった。

小生は英雄豪傑が好きではなく、そのような主人公が登場する歴史小説や大衆文学は読んだことがなかったし、大河ドラマなるものも見ることがなかった。ところが、司馬遼太郎の『坂の上の雲』には、漱石に俳句を教えた正岡子規が出てくるし、その時代の青年たちが何を考え何を目指していたのかが書かれているらしいことを知り、読んでみることにした。結果、面白かった。明治という時代が現在の日本を形作る基礎になっていたことを確認し、その時代の若者たちの熱気と志の高さを知ることができた。また、日露戦争での乃木希典の不器用さや、日本海戦での勝利の原因なども知れ、また将校たちは前線で活躍するだけでなく、武官としての外交も担っていること、そこでの社交術や戦術の勉強などがいかに戦況を左右するかが知れた。全く未知の分野でも、漱石を通したからこそ知ることができたのだった。大嫌いだった歴史も、こうした視点で見直すと面白いものである。林も言う。読書はモチベーションで始まるのだと。

そもそも、何に興味がありどのようなことを知りたいのかは人によって違ってくる。だから、実用的なことにしか関心のない人にとっては、SFやファンタジーなどを読むと馬鹿らしくて腹が立ってくるかもしれない。ハッピーエンドを求めて読んでいのに、そうはならない小説に困惑するかもしれない。だから、どのような本を読めばいいのかという問に答えるのは難しいのである。

「ココロノアリカ」vol.43 『やさしいウソ』

宮田 哲郎(水戸南高等学校 定時制同窓会会長)

私たちは往々にして、生まれてから成長するにしたがい、どこかしらで年長者からこう教わります。

「嘘をついてはいけない」。それはさも当然のように教わる価値観の一つで、嘘はイコール悪いものであるという印象が植えつけられます。

確かに、人を欺くため、人を陥れるため、自己保身のためだけ。そういった嘘はよくないことだと思いますし、それは悪いものと言われてもしょうがないと思います。それによって人を傷つける可能性が高くなり、巡り巡って自分の首を絞める事にもつながる。だからこそ、人と人とのコミュニケーションの中で脈々と受け継がれ、今もその伝わりは続いているんだと思います。嘘は悪いものだということです。

でも、本当に全ての嘘は悪なのでしょうか。私たちはその嘘を一つもつかずに生きていくことはできているのでしょうか。私はどうしてもそう思っています。嘘の中にも『やさしい嘘』があると感じているからです。

相手を傷つかせたくない。相手に嫌な思いをさせたくない。そういう気遣いに端を発した嘘も確かに存在していると思いませんか。そして、私たちは大人になるにつれて、そうした微妙なコミュニケーションが必要な時に、小さな『優しい嘘』を操ってはいないでしょうか。そう考えた時、嘘を全ていけないことだと言うのはちょっと違うような気がしています。仮に嘘を微塵もつくことなく本音を包み隠さず出し続ければ、どこかで人と人とはぶつかり合うものです。嘘はいけないこと。だからといって本音で全てをぶつけ続けた時、いずれコミュニケーションの破綻を及ぼします。それは嘘をついていないからといって善なのでしょうか。

さて、まるで答えのない問答を繰り返しているようですが、何を言いたいかと言うと、あらゆる物事はすべからず『本質』が大事ということです。まるでレッテルを貼るように物事を善悪で立て分けても、あらゆる問題は解決しません。本質がどこにあるか。そこに人間同士の温もりはあるか。そういったことが、コミュニケーションにおいては大事なのではないのでしょうか。

昨今、SNSを通じて一個人の考えや価値観を自由に発信できるような世の中になりました。最近では自動翻訳機能なども追加されるようになり、言語が違ってても軽々と国境を越えていくような時代へと変貌

を遂げています。軽い気持ちで発信したものが瞬く間に全世界へと広がっていく。ある意味、言葉や文字のパワーがとても大きく増幅された時代を我々は生きています。それはテクノロジーの発達をもたらした素晴らしい結果であると同時に、大きな脅威でもあります。

発信したものがたくさんの人の目に触れる。その内容が良いことであれば何よりですが、悪い内容だとすぐに拡散されて、俗に言う『炎上』という状態になります。名も知らぬ、どこかの誰かからたくさんの批判を受け、場合によっては訴訟問題になるなど、その影響は一人の人間のキャパシティを大きく超えた事態へと変貌を遂げることも少なくありません。もちろん言論の自由があるこの国に生きているからには、何を考え何を発信しようとも他人に害を及ぼさなければ構わないことです。しかし、モラルに反したり、マナーを守っていなかったり、何かを間違っていたり、そういった内容に対しては厳しい世間からの意見が否応なしに飛んできます。自分でもそんな時ありませんか？ 何かいやな気分になった投稿とか、一言モノ申したいような投稿を見つけた時に、引用したりリプライを送ったりして再投稿する。そして、それに『イイネ』がつくと共感してもらえたような気分になったりして。

そんな様子を SNS 上でみる度、私は前述した『優しい嘘』についての問答が頭をよぎります。表面上は悪いことだったとしても、その本質はどうなんだろうか。この相手も自分と同じ一人の人間なんだよなあ、ということを自分は理解できているだろうか。なんか、年々 SNS を使う人が増えてくるにつれて、表面上だけのやり取りが増えているような気がしてなりません。前述の嘘の話に例えるなら、「これは嘘だからダメ」だけで終わってしまっている。そしてそれにイイネがつくことで自分の承認欲求だけが満たされる。本当に使い方はそれでいいのかなあ？ みたいな印象があります。

それも進化したコミュニケーションのあり方の一つなのかもしれませんが、やっぱり最終的に人と人との関わりって、そこに本質的な『温もり』があるかどうかなんじゃないかなあ、って私は感じています。いつも人間らしい温もりを忘れないよう、自戒を込めてテクノロジーを利用していききたいものです。

特に SNS を見ていると思うことがもう一つあります。それは『美味しいご飯』と『かわいいモフモフ』はどんな言論よりも最強だと思います。ついつい知り合いにイイネ押しちゃいます(笑)

子どもが遊びに夢中になり、名前を呼んでも気づかないことってありますよね。大人から見ると、「そろそろやめてほしい」「ほかのこともしてほしい」と思う場面ですが、何かに深く没頭する経験は、子どもの成長にとって大切な意味をもっているそうです。

子どもが何かに夢中になる過程では、知識を得るだけでなく、自分で試したり、失敗したり、工夫したりする学びが起きているそうです。思うようにいかなかったとしても、夢中になった経験そのものが、もう一度挑戦する力や、自分のやりたいことを見つける力につながっていくのでしょう。

脳医学者の瀧靖之先生が監修した『東大脳の育て方』では、東大生・東大卒業生を対象にした調査で、子どもの頃に何かへ熱中した経験があると答えた人が92%に上ったことが紹介されています。

もちろん、何かに夢中になれば東大に入れる、という単純な話ではありません。注目したいのは、虫取り、読書、工作、スポーツなど、対象が何であっても、自分の「もっと知りたい」「もっとやってみよう」という気持ちを追いかけた経験です。

熱中している子どもは、分からないことが出てくると、自分で試したり、調べたり、誰かに聞いたりします。その積み重ねによって、知らないことに出合ったときの向き合い方を身につけていきます。こうした姿勢は、学校の勉強だけでなく、大人になってからの仕事や生活にもつながるものだと考えられます。

それでは、子どもの没頭する力を育てるために、親はどのように関わればよいのでしょうか。

< 夢中になっている時間を大切にする >

まず心がけたいのは、子どもが熱中しているときに、できるだけ途中で止めないことです。

積み木を何度も積み直している。絵を描き続けている。虫をじっと観察している。そんな時間には、子どもの頭の中でさまざまな発見や試行錯誤が繰り返されています。安全上の問題がなければ、少し離れたところから見守ってみましょう。

もちろん、食事や入浴、就寝など、生活の区切りをつけなければならないこともあります。そのようなときは、いきなり「もう終わり」と止めるのではなく、「よく集中していたね」「続きはご飯のあとにしよう」と、夢中になっていたことを認めてから声をかけます。

自分が集中して取り組んだことを大人に受け止めてもらう経験は、「またやってみよう」という気持ちにつながります。

< 一緒に調べ、本物に触れる >

子どもは何かに興味をもつと、「これは何?」「どうしてこうなるの?」と次々に質問します。しかし、大人がすべての答えを知っている必要はありません。

「お父さんも分からないから、一緒に図鑑で調べてみよう」

「どうしてだろう。実際に見に行ってみようか」

このように、答えをすぐに教えるのではなく、一緒に考えたり調べたりすることも大切です。自分の疑問をきっかけに世界が広がっていく楽しさを、親子で共有できます。

電車に興味をもったら駅や鉄道博物館へ行く。魚が好きなら水族館や川、海へ出かける。星に関心をもったら夜空を眺める。無理のない範囲で本物に触れる機会をつくることで、子どもの好奇心はさらに深まっていきます。

ただし、親が良いと思うものを無理に与えるのではなく、子ども自身が興味を示したものを出発点にすることが大切です。

< 親も楽しむ姿を見せる >

そして、もう一つ大切なのは、親自身が何かを楽しむ姿を見せることです。

読書、料理、園芸、スポーツ、音楽、工作など、何でも構いません。大人が楽しそうに取り組んでいる姿を見ると、子どもも自然に興味をもちます。

子どもにやってほしいことがある場合も、まず親と一緒にやってみるとよいかもしれません。昔、自分が夢中になっていた遊びや趣味を、子どもと一緒に始めてみるのもすてきです。

ただし、子どもが同じものを好きになるとは限りません。親が楽しむ姿を見せながらも、何に夢中になるかは子どもに任せる。そのくらいの距離感がちょうどよいのではないのでしょうか。

子どもが何かに集中しているときは、ただ遊んでいるように見えても、観察し、考え、試し、失敗しながら学んでいます。

「早くしなさい」と声をかけたくなくなったとき、ほんの少しだけ立ち止まり、「今、この子は成長の真っ最中なのかもしれない」と見守ってみませんか。

子どもが時間を忘れるほど好きになれるものとの出会いを、大人も一緒に楽しんでいきたいですね。



※参考

- ・瀧靖之監修『東大脳の育て方』主婦の友社
- ・こどもまなび☆ラボ

失敗する力を育てよう

杉野美子（世界のよしこ）
大人の世界一周アカデミー校長 445life.com

大人の世界一周アカデミーで送り出す前の生徒さんは、みんな不安でいっぱいです。

「飛行機に乗り遅れたらどうしよう」

「英語が通じなかったらどうしよう」

「道に迷ったらどうしよう」

心配なことを一つひとつ整理しながら、一緒に準備を進めていきます。

先日も、初めての世界一周、初めての一人旅を前にパニックになった女性がいました。

Zoom で一緒に荷造りをした時のことです。あれも必要、これも必要と荷物がどんどん増えていきます。

そこで私は聞きました。「一番大切なものは何ですか？」荷物を優先順位順に並べてみることにしたのです。絶対に必要なものから順番に並べ、機内持ち込みのスーツケースに詰めていく。いっぱいになったら終了。入らないものは持っていけない。すると彼女がぼつりと言いました。「先生、これって旅だけじゃないですね。人生ですね」

その言葉に、私も思わずうなずきました。旅の準備をしながら、自分にとって本当に大切なものを見つめ直していたのかもしれませんが。必要なものだけをスーツケースに詰めて、彼女は旅立ちました。

そして3週間後。

帰国した彼女の第一声は、

「なんとかなるものですね。怖い怖いがなくなってきました」

出発前はとても心配性で、何度も質問をしてきた彼女。ところが帰国後は表情まで変わっていました。

「いろんなことが怖くなくなってきました。なんとかなると気軽に考えられるようになりました。」

旅の途中では、電車を乗り間違えたり、ホテルで困ったり、予定変更が必要になったり。いろいろな出来事があったそうです。

でも、そのたびに自分で考え、自分で解決してきました。

そして最後に出てきた言葉が、「意外となんとかなるんですね」だったのです。

自信は、失敗しないことで身につくのではなく、

「困ったけれど乗り越えられた」という経験から生まれるのだと、あらためて感じました。

これは子育ても同じかもしれません。親は子どもが困る姿を見たくありません。失敗させたくないし、傷ついてほしくない。だからつい先回りしてしまいます。

転びそうなら支える。

忘れ物をしたら届ける。

友達とのトラブルも解決してあげたくなる。

それは愛情があるからこそです。

でも、子どもは失敗しながら学びます。転んだから気をつける。忘れ物をしたから準備を覚える。友達とぶつかったから相手の気持ちを考える。そんな小さな経験の積み重ねが、生きる力になっていくのだと思います。

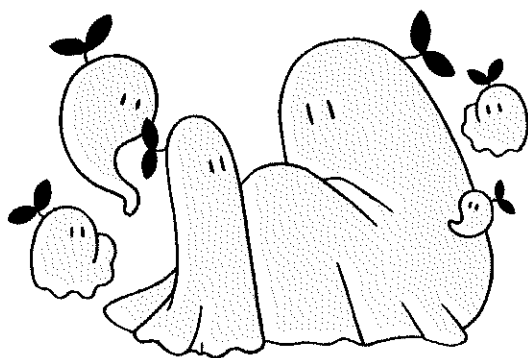
大切なのは、失敗させることではありません。失敗しても大丈夫と思える環境をつくること。うまくいったときだけでなく、挑戦したことを認めること。失敗したときは責めるのではなく、「次はどうしたらいいかな」と一緒に考えること。

私自身も子育てを振り返ると、もっと見守ればよかったと思う場面があります。親もまた失敗しながら学び、成長していくのかもしれない。

人生は冒険です。

子どもたちはこれから何度も失敗し、何度も立ち上がっていくでしょう。その経験の一つひとつが、その子らしい人生をつくっていく。

だから私は今日も思います。失敗は財産。失敗しないことよりも、失敗から立ち上がる力を育てていきたい、と。



●絵本の紹介●

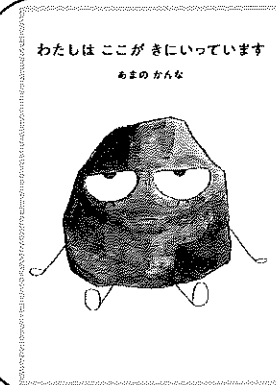
図書館司書ずんちゃん



「なみのいちにち」

阿部 結／作・絵
出版：ほるぷ出版

海はいつでもそこにあって私たちを迎えてくれる存在。そこで波は一体どんな一日を過ごしているのでしょうか。同じ場所なのに時間によってまったく異なる景色がみられるって想像したことありますか？太陽が顔を出して一日が始まり、夜中に眠りにおちるまで…波の一日は忙しく、そして不思議な出会いがあるようです。まるで海にいるかのような鮮やかで美しい海の絵本です。



「わたしは ここがきにいています」

あまの かな／作・絵
出版：リーブル出版

小さな石ころ「ごろんくん」は大きな樹の下に住んでいて、そこがお気に入り。だからお友達のまるさん・もぐさん・くるさんに遊びに誘われても、お断り！のはずが…いつも巻き込まれて川の中、土の中、果ては空の上まで！！大変な目にあう「ごろんくん」ですが、やがて自分でも知らなかった【本当の自分】にであいます。ちょっと怖くても痛くても、歩き出した先にあるのはみたことのないすばらしい景色。



「なすこちゃん と ねずみくん」

堀米 薫／文
こがしわかおり／絵
出版：新日本出版社

循環型社会という言葉が最近よく耳にしますが、なんだか難しそうに感じますよね。この絵本では畑の生き物たちが命の循環を優しく教えてくれます。「たねよ おもいをつないでおくれ めぐりめぐってうまれるために」なすこちゃんの歌を聴けば頭じゃなく心でわかる。たとえスーパーで野菜を買うのでも、この絵本を思い出せば愛しく感謝の気持ちで自然と湧いてきます。

えほん作家
さんより
おてがみを
いただき
ました！



この世界のものは、みれなうながらる。
いいことも、わるいことも、みれな。

たくさであって、なうながらる。
その時間が、きと
大切なものになるよ。

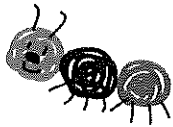
情報誌「こどものじかん」春号のP7 掲載絵本の紹介ページで紹介しました「バナナといたら？」の作者ころんかっこ様よりこのカードとお手紙をいただきました！

水戸こどもの劇場 HP に載っている情報誌を偶然見つけてくれたそうで、たいへん喜んでいただきました！

作者さんをつながりができるなんて、ずっと発行し続けてきて良かったです。

紹介文の原稿を書いている図書館司書ずんちゃん、いつもありがとう♥ずんちゃんが紹介してくれる絵本いつも素敵で楽しみにしています。(H)

●子育てコラム●



安野名都美

「家の庭が、鳥たちのバズリスポットに!」「僕には鳥の言葉がわかる」という本をご存知でしょうか。動物心理学という新しい研究分野があり、その中でも鳥の心理について、詳しく書かれた本なのだそうです。確かに、鳴き方で仲間に危険を知らせたり、求愛をしたり。鳥もなんとなく、言葉を話しているような感じはしますね。その本に関心を持ったきっかけが2つあります。知人から紹介されたのと、わが家の庭が、鳥たちのバズリスポットになっているから!なんです。今年の5月ごろ。庭の芝生も青々とし始めたころに、一羽のハクセキレイがやってきました。(水戸市の市鳥ですね。ご存知でしたか?)ハクセキレイって、肝が座った性格なのか、人が近寄っても逃げません。私たち人間が、窓越しにじーっと眺めていても、お構いなし。マイペースにバッタの幼虫をつついて食べています。そんなハクセキレイが「あの家、エサいっぱいあるよ」と呼んだのか。スズメ、イソヒヨドリ、ムクドリも変わりばんこにやってくるようになりました。スズメとムクドリは一緒に来ることもあって、互いにエサ場を譲り合いながら過ごしています。イソヒヨドリはとっても用心深く、来る時は必ず、他の鳥がいないとき。物音がすると逃げてしまうので、そっと眺めています。一体どうやって、我が家は鳥たちのバズリスポットになったのか?「僕には鳥の言葉がわかる」を読めばわかるのかな。私は見逃したのですが「ムクドリがいつべんに6羽飛んできた!何か話してた!」と息子たちが騒いでいたので、その時の会話も、わかるんじゃないか。とっても気になる一冊です。

＜おしらせ＞

水戸こどもの劇場

あそびにきてね!

入場無料
2026.11.3 (祝火)

みとこどものげきょうまつり

水戸こどもの劇場は1971年発足以来、子育て支援を中心に今なにが必要かを考え、活動を作り続けてきました。ひとりで出来ないこともみんななら出来ることもある!年に一度ただただ楽しく過ごせれば...ということでおまつりを、今年の水戸市民会館で開催します!

QRコード
ホームページ

水戸市民会館

3階大会議室10:15~15:00

いろんなあそび
おもちゃであそぼう!
魔法の積み木カップラ
ぽかぽかつどいの広場講座
よみかせの会ガブの会 ラジオ
室内ゲーム(午前のみ)
カフェ ミニ0円マーケット、など

4階小ホール 午前のみ!

小さなお子さんから大人まで楽しめるコンサート!
ファミリーブラスバンド
みとびよ音楽隊コンサート

🎺 開場10:00 開演10:30

音楽好きなママパパ中心に子連れOKで演奏を楽しむグループ!年30回以上公演しています。

お問合せ 認定NPO法人水戸こどもの劇場 TEL029-255-0908

毎月の活動（その他 文化創造体験活動、自主活動なども開催しています）

*変更や中止になる場合もありますのでお問い合わせ下さい。詳しくはホームページをご覧ください。

おもちゃ貸し出し エルマークラフ 対象：幼児の親子 【予約制】 毎週水曜日、第1・3金曜日 利用無料 水戸こどもの劇場事務所（各回1～2組限定） ①11：00～11：45 ②12：00～12：45 ③13：00～13：45 *おもちゃや本の貸し出しあり 貸出料 会員無料(要登録3千円、会員外1回500円) ●お申し込み ホームページから 	多世代交流 たまり場「はやま庵」 毎週月曜日 10：00～12：30 利用無料 水戸市老人福祉センター葉山荘内 和室 ●お問い合わせ 葉山荘 029-243-5508 多胎児サークルかるかも 双子ちゃん三つ子ちゃんを持つ親子のサロン 月1回金曜日 10時～12時 参加無料 水戸市福祉ボランティア会館（ミオス2F）
個性ある子育てサロンcomodo（コモド） 対象：大人 月2回程度 10時～12時 発達が気になる、HSC等、子育ての悩みを話す会 水戸市福祉ボランティア会館（ミオス2F）	ガフの会 毎月読み聞かせ会をしています。 東部図書館2F 第1・5土曜日 14時～14時半 見和図書館 第3土曜日 14時～14時半 参加費：無料
みとびよ音楽隊♪ ファミリープラスバンド 練習は月5回程度9時半～12時(対象：大人 子連れOK)楽器の演奏を楽しんでいます。&依頼演奏あり 参加費：要活動会員登録（年3千円） 入会金1000円・毎回200円 *練習場所、日時についてはお問い合わせください。	ウクレレ&ギターサークル♪「ピコ」 対象：大人 毎月1回 10時半～13時半（子連れOK） 場所は事務所または見川市民センター ゆる～くウクレレやギターを楽しむ会です！ 参加費：会員無料、会員外1回300円 *気軽にお問い合わせください。
ガレッジセール 【予約制】 月2回程度 主に火曜日&時々土日 11時～14時 水戸こどもの劇場事務所隣 トレーラーハウス 不要になった子ども服や雑貨日用品など格安でお譲りしています。	moso カフェ 対象：大人 月1回程度 10時半～14時 朗読を聴いたりすることもありますよ♪ 事務所となりトレーラーハウスまたは別館にて ゆったりゆったり自由に過ごすゆる～い会です。 手作りのお昼ご飯やバザー品もあります。
こどもの居場所 ポルタ 【申込制】 第3の居場所～自分らしく安心して過ごせる～ 日時：月・火・木曜（祝日・年末年始・お盆休み除く）9：00～17：00 入退室自由 場所：水戸こどもの劇場 別館（水戸市見川2-81-7 C棟）対象：小学生～中学生のお子さん、親子、大人 参加費：1回1000円＋年間諸経費・保険料5000円／年（体験2回無料） ○お問い合わせ・お申込み 水戸こどもの劇場 HP、又は事務局まで 電話 029-255-0908 	
水戸市子育てひろば ぽかぽかつどいの広場（水戸市受託事業） 毎週火・水・木・金・土 10：30～15：30（日・月・祝日閉館） 場所：水戸市福祉ボランティア会館（ミオス2F） 未就学児の親子を対象に、交流の場を提供しています。 参加費：無料 毎月講座開催中（講座のみ予約制） ○お問い合わせ ぽかぽかつどいの広場 電話 090-8348-5375 まで	
室内ゲームの会「On the table」 対象：小1～大人 毎月1回、土曜か日曜祝日（不定期）10時～15時 水戸こどもの劇場事務所、電気のいらないゲーム、カードゲームやボードゲームで楽しく遊びます。 参加費：無料 出入り自由	遠足くらぶ 対象：子ども～大人 【申込制】 複数家族で季節ごとに山歩き、釣り、サイクリング、果物狩りなど、いろんなことを体験しています。 不定期 参加費：会員無料、会員外1回500円（その他実費）
ほんと！HOT！スクウェア ファミリー情報番組 毎週土曜日 15時～16時 毎週火曜日（再） スタッフはみんなお父さんお母さん、生活の中で気づいた疑問、得た情報を放送中です！ ラジオFMばるるん 76.2MHz 放送中！	おとなだいかく 対象：大人 月曜日（月1回）10：00～12：00 別館にて おとなのためのやってみたいことをお茶を飲みながらゆるっと楽しく学ぶ会です。 ＜参加費＞会員無料・会員外1回200円



●訪問型病児保育“ぷちぷり”のご案内●

対象：水戸市居住の生後6ヶ月～小学生までのお子さん

実施場所：水戸市内の利用する児童の自宅

利用時間：原則として8時～20時まで

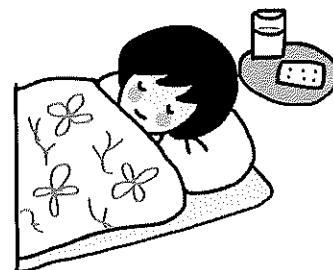


水戸市受託事業として水戸こどもの劇場が実施しています。

病気のお子さんを、研修を受けたスタッフが登録のあったご家庭に伺って見守ります。

事前登録、医師連絡票が必要です。

その他詳細は、水戸こどもの劇場ホームページをご覧ください。



*登録会を開催しています。(要予約)

(お問合せ) TEL029-255-0908

会員募集中!

入会は、子どもから大人まで。

正会員 入会金 500円

月会費 1,000円

活動会員 年会費 3,000円

ボランティア登録会員

(大人のみ) 学生無料

年会費 1,000円

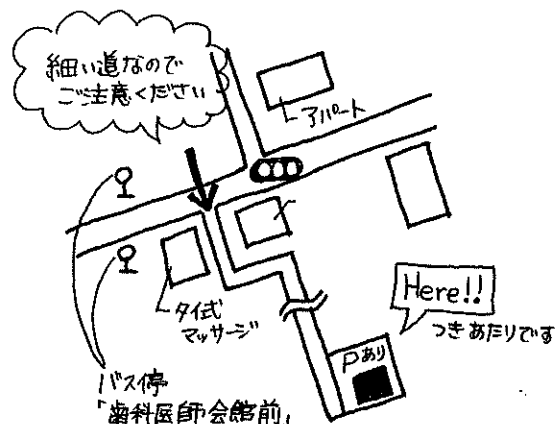
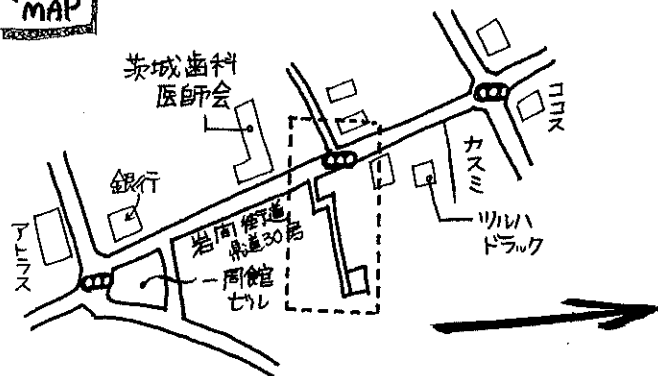
賛助会員 一口 5,000円～

*賛助会費は寄附扱いになります。

<賛助会員の皆さん>

水戸吉沢小児科クリニック様、河和田幼稚園様、サンライフ・サンフーズ様、モダンデンタル中庭歯科医院様、さかいひろこ様、水戸産業医事務所様、雨宮則子様、岩田みなみ様、内桶純子様、加藤智明様、河原井忠男様、杉野美子様、柳橋剛様、田中光彦様、中根一昭様、野口祥子様、植木剛様、森田直幹様、森田大輔様、西連寺悠斗様、久下沼洋子様、桜井大介様、桜井博司様

(順不同・6月末現在)



•カスミ側から1つ目の信号を左折です。

•駐車場あります(台数に限りあります)

<住所：水戸市見川2-82-11>

◆寄附のお願い◆

私たちの活動は、会員の会費や助成金、行政からの委託などの事業収入、ボランティアスタッフの奉仕によって実施されています。

全ての子どもたちが尊重され、この地に生まれてよかったと思える環境を私たち大人が創ることが豊かな未来を育てると信じています。未来を育てる活動をご支援ください！

認定NPO法人として多様な活動を支えるために 1人 3,000円～、年間 100名以上の寄附者を募集しています！ご協力をお願いいたします。

認定NPO法人への寄附は、確定申告をすると税金の還付が受けられます。
ぜひ応援よろしくをお願いいたします。

＜お振込先＞

- ・郵便振替 00300・8・1833 水戸こどもの劇場
- ・常陽銀行 見和支店 普通 1261264

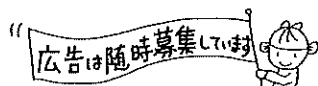


ガレッジセールを開催しています！

月に1～2回程度 水戸こどもの劇場となりトレーラーハウスにて
お時間がありましたらぜひのぞきにきてみて下さい！

日程、お申込みなどHP・インスタなどをご覧下さい

＜広告＞



まるごとカフェ

平日11:00～16:00(土日祝休み)

- お弁当イートイン(カフェで食べられます)
- ユーアイ子育て支援センターのすぐとなり
- ユーアイほいくえんのすぐとなり
- 平日14時からフードロスタイムでお弁当100円!
(売り切れ次第終了します)



社会福祉法人ユーアイ村 | ユーアイキッチン
水戸市吉沼町1429-12 電話029-212-3775

中古車購入 衝撃のシステム

- 毎週10万台以上のオークション出品車両から、お気に入りのクルマをお選びいただけます。
- オークション出品車両を直接買い付け、お客様にお届けしますので、**中間マージンの大幅カット**によりとにかく安い！
- 出品票・評価点オープンで厳格な品質チェックにより、安心してクルマをお選びいただけます。
- 1年間無料ロードサービス付き

お気軽に遊びに来て下さいね。
スタッフ一同、心よりお待ちしております。

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-977-380

中古車情報館 スーパーオークション水戸河和田店

水戸市河和田町3035-14

営業時間 10:00～20:00 定休日 月曜

吉田石油

50号バイパス・岩間街道交差点内



●編集後記●

- ・(H) 雑巾を絞れない子、消しゴムでうまく消せない子が増えているとのこと。経験したことがなければ出来ませんよね、やっぱり実体験は大事ですね。AIで感想文も書いてくれるそうで、考える力も衰えそうになってしまう。すべて否定はしませんが何事もバランスが大事、両方うまく使えるといいですね。
- ・(N) すぐに名前が出てこなかったり、物を取りにいつても置いて帰っちゃったり、私大丈夫？とか思うことがあります。脳はいつからでも鍛えられるそうです。興味あることはチャレンジしていきたいし、楽譜を読むのは脳トレになるなあと思うので、これからもみとび音楽隊♪楽しみます！